

viMarkdown 簡単な入門

概要

viMarkdownは、直感的で効率的な執筆体験を提供することを目指して開発されているマークダウソエディタです。

本アプリは、左側の「アウトラインバー」による文書構造の素早い把握、中央の「エディタ」での軽快な入力、そして右側の「プレビュー画面」によるリアルタイムな仕上がり確認という、三位一体の編集環境を提供します。現在はプロトタイプ版（ver 0.0.x）として、マークダウソエディタとしての基本機能を安定して動作させることに注力しています。そのため、本アプリの名称の由来でもある「viコマンド」による編集機能はまだ実装されておらず、現状では一般的なテキストエディタと同様の操作感となっています。

ターゲットユーザーは、技術文書やWeb記事、研究論文、あるいは日々のレポートや卒業論文といった論理的で構造的な文章を執筆するエンジニア、執筆者、研究者、そして理系学生の方々です。脚注やテーブル、そして将来的にサポート予定の図表描画（Mermaid等）といった豊かな表現力を活用しつつ、アウトライン機能によって長大な文書の全体像を常に俯瞰しながら、執筆のロジックを組み立てることに集中できます。

動作環境は、Qt6を利用したデスクトップ環境を想定しており、現在はWindowsでの動作を確認しています。今後のアップデート（ver 0.3以降）を通じて、真の「viMarkdown」としての編集体験を構築していく予定です。

なお、本ガイドは機能の細部や詳細な仕様にはこだわらず、まずはviMarkdownの基本的な使い方を一通り把握していただくことを目的としています。

※ 本ガイド（viMarkdown 簡単な入門）自体も、viMarkdownを使用して作成されました。

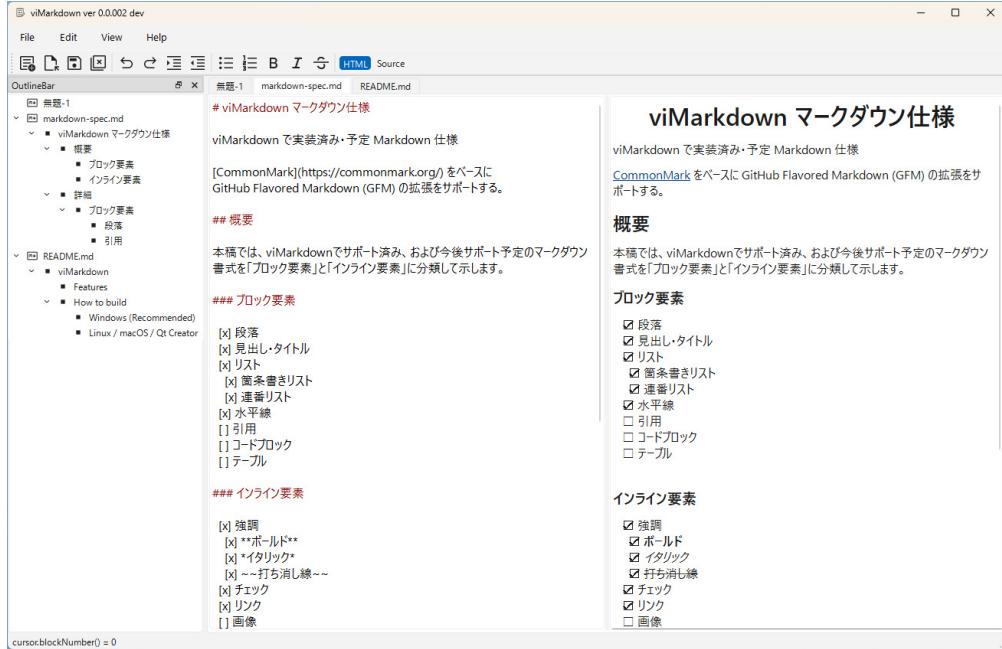
簡単な入門 目次

- 画面説明
 - エディタ領域
 - プレビュー画面
 - アутラインバー
 - メニュー、ツールバー
 - ステータスバー
- マークダウンで文章を書いてみよう
 - エディタでの編集はリアルタイムにプレビュー画面に反映される
 - 見出し
 - 本文
 - リスト
 - 文字強調
- ファイル保存
- 既存のマークダウンファイルを開く

- Recent Files
- 文書クローズ
- アプリ終了

画面説明

viMarkdownのインターフェースは、左側に構造把握のための「アウトライン」、中央に「エディタ」、右側に「プレビュー」を配置した、直感的で効率的な3カラム構成を採用しています。



アウトラインバー（左ペイン）

執筆中の文書構造をツリー形式で表示します。

- **見出し抽出:** 文書内の # (H1) や ## (H2) といった見出しを自動的に解析し、階層構造で表示します。
- **ファイル一覧:** 現在開いている複数のファイルをフォルダ形式で管理し、素早く切り替えることができます。
- **クリックジャンプ:** ツリー内の項目をクリックすることで、エディタおよびプレビューを該当箇所へ瞬時に移動させることができます。

エディタ領域（中央ペイン）

マークダウンを記述するメインの作業エリアです。

- **タブインターフェース:** 複数の文書を開き、上部のタブで切り替えながら並行して執筆できます。
- **シンタックスハイライト:** 見出しが赤色で強調されるなど、マークダウン記法がリアルタイムで色付けされ、プレーンテキストよりも構造が把握しやすくなっています。
- **編集操作:** 通常のテキストエディタと同様の直感的な入力・修正が可能です（※viコマンド機能は今後のバージョンで実装予定）。

プレビュー画面（右ペイン）

エディタで入力したマークダウンが、最終的にどのような外見になるかをリアルタイムに表示します。

- **ビジュアル確認:** 太字、リスト、見出し、テーブルなどがHTMLとしてレンダリングされます。
- **仕上がりチェック:** 執筆しながら、改行の具合や構造のミスを視覚的に確認できます。
- **HTMLソース表示:** ツールバーの [Source] ボタンを選択することで、レンダリングされた HTML ソースコードを表示することができます。生成されたコードをコピーして、他のWebサイトやブログへ貼り付けて利用するといった用途にも活用可能です。

メニュー・ツールバー（上部）

主要な機能に素早くアクセスするためのエリアです。

- **標準メニュー:** ファイル操作（保存、開く）、編集（元に戻す、やり直し）、検索などの標準的な機能を備えています。
- **書式ボタン:** 太字(B)、斜体(I)、打ち消し線(S)といった頻繁に使用するマークダウン記法を、選択範囲に対してワンクリックで適用できます。
- **表示切り替え:** 「HTML」表示と「Source（ソースコード）」表示を切り替えるボタンにより、レンダリング結果の詳細を確認することができます。

ステータスバー（下部）

現在の編集状態をリアルタイムで表示します。

- **カーソル位置:** 右端に「行：列」の形式（例：12:7）で現在のカーソル位置を表示します。
- **情報通知:** アプリの状態やメッセージが表示されます。

マークダウンで文章を書いてみよう

viMarkdownは、直感的な記法で構造化された文書を素早く作成するためのツールです。まずはこのガイドを参考にして、実際にエディタへマークダウンを書いてみましょう。入力した内容がプレビュー画面にリアルタイムに反映される様子を、自分の目で確かめながら進めてみてください。

エディタでの編集はリアルタイムにプレビュー画面に反映される

中央のエディタ領域でテキストを入力・編集すると、その結果が即座に右側のプレビュー画面に反映されます。保存操作を待つことなく、常に最終的な仕上がりを確認しながら執筆に集中できます。

見出し

行頭に `#` 記号を付けることで見出しを作成します。`#` の数によって見出しのレベル（H1～H6）を指定できます。

- `#` 見出し1`（最大の見出し）
- `##` 見出し2`（中見出し）
- `###` 見出し3`（小見出し）

※ `OutlineBar` には、ここで指定した見出しが自動的にリストアップされます。

本文

特別な記号を付けずにテキストを入力すると、通常の段落（本文）として扱われます。

- **段落の区切り**: 空行（何も入力されていない行）を一行挟むことで、新しい段落として区切られます。
- **行内での改行**: 行の末尾に半角スペースを2個追加すると、段落を変えずに次の行へ改行（強制改行）することができます。段落を分けたくない、単なる改行を行いたい場合に便利です。

リスト

箇条書きや番号付きのリストを簡単に作成できます。

- **箇条書き**: 行頭に`-`（ハイフン）または`*`（アスタリスク）と半角スペースを入力します。
 - 行頭にスペースを入れることで、リストをネスト（階層化）することも可能です。
- **番号付きリスト**: 行頭に`1.`などの数字とピリオド、半角スペースを入力します。

文字強調

特定の単語やフレーズを装飾して目立たせることができます。

- **太字**: 強調したい文字を``で囲みます。（例：`重要` → 重要**）
- **イタリック（斜体）**: 文字を``で囲みます。（例：`斜体` → 斜体*）
- **打ち消し線**: 文字を``で囲みます。（例：`削除` → 削除~~）

※ これらの装飾は、ツールバーの [B] [I] [S] ボタンを使って、選択範囲に対して簡単に適用することができます。

ファイル操作と終了

ファイル保存

編集した内容を保存するには、メニューまたはショートカットを利用します。

- **上書き保存**: メニューの `File` -> `Save` を選択するか、`Ctrl + S` を押します。
- **新規文書の場合**: 「無題-1」などのまだ名前のない文書で `Ctrl + S`（保存）を実行すると、自動的に「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。ここでファイル名を指定して保存してください。
- **既存文書の場合**: すでに名前があるファイルは、そのまま上書き保存されます。
- **名前を付けて保存**: すでに名前があるファイルを、別の名前でコピーして保存したい場合は、`File` -> `Save As` を選択してください。

既存のマークダウンファイルを開く

コンピュータ内に保存されている `.md` ファイルを読み込んで編集できます。

- **ファイルを開く**: `File` -> `Open` を選択し、目的のファイルを選択してください。開かれたファイルは新しいタブとして追加されます。

- **Recent Files**（最近使ったファイル）：`File` -> `Recent Files` メニューから、過去に編集したファイルを履歴から素早く開くことができます。何度も編集するファイルを探す手間が省けます。

文書クローズ

編集が終わったタブを閉じることができます。

- **閉じ方**：メニューの `File` -> `Close` を選択するか、ショートカットキー `Ctrl + W` を押すと、現在のタブが閉じられます。
- **保存の確認**：未保存の内容がある場合は、タブを閉じる前に「変更を保存しますか？」という確認ダイアログが表示されます。不注意で作業内容を失うのを防ぎます。

アプリ終了

viMarkdownを終了します。

- **終了方法**：ウィンドウ右上の `×` ボタンをクリックするか、メニューの `File` -> `Exit` を選択します。
- **一括確認**：複数のタブで未保存の文書がある場合、終了前にそれらを保存するかどうかを順に確認します。